

耳鼻咽喉科学

責任者名：米原 啓之

学期：前期

対象学年：5年

授業形式等：講義

◆担当教員

米原 啓之(口腔外科学Ⅱ 教授)

松崎 洋海(隣接医学 兼任講師)

大内 俊孝(隣接医学 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

耳鼻咽喉科学では内耳，中耳腔，鼻副鼻腔，口腔，咽頭，喉頭を対象としている。これらの領域では，聴覚・嗅覚・味覚といった感覚器と発声・発語・嚥下・呼吸といった機能を司っている。従って，耳鼻咽喉科学は歯科と相互に密接なつながりのある境界領域であり，歯科医師にとっては極めて重要な隣接医学である。本教科では歯科医師として必要な耳鼻咽喉科・頭頸部外科学の知識を習得する。

◆到達目標 (SBO s)

歯科診療を行うために必要な耳鼻咽喉科的な知識を身につけ歯科診療を行うことができる。

◆評価方法

隣接医学Ⅲ各7教科（小児科学・耳鼻咽喉科学・皮膚科学・泌尿器科学・眼科学・産婦人科学・精神・神経科学）の各問題を一つの試験としてまとめ，定期試験を実施する。定期試験（100%）により評価する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
米原 啓之	月曜日～金曜日 17:00～18:00 口腔外科Ⅱ・臨床医学講座教授室		

◆授業の方法

講義は教科書，PC，黒板を用いて行う。講義は教科書，PC，黒板を用いて行う。必ずしも教科書通りの講義は行わない。教科書の内容を理解していることを前提に講義を進めることもある。

◆教材 (教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	隣接医学Ⅲ (PDF ファイル配付)		日本大学歯学部	
参考書	新耳鼻咽喉科学		南山堂	

◆DP・CP

DP 4

コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

DP 5

コンピテンス：挑戦力

コンピテンシー：新たな課題の解決策を見出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

DP 6

コンピテンス：コミュニケーション力

コンピテンシー：医療をはじめとする様々な場面において、他者との円滑な意思の疎通を行い、互いに価値観を共有し、適切なコミュニケーションを実践して自らの考えを発信することができる。

DP 7

コンピテンス：リーダーシップ・協働力

コンピテンシー：患者を中心としたチーム医療において、責任ある医療を実践するためのリーダーシップと協働力を養うことができる。

CP 3

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

CP 4

歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

CP 7

歯科医師の責務を自覚して、責任あるリーダーシップを発揮し、患者を中心としたチーム医療における適切なコミュニケーション能力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

講義前に対応する教科書の各章を読むこと。

◆準備学習時間

各々の授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

隣接医学 I, II

口腔外科手術時の患者管理

口腔診断学・有病者歯科学

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		5.11	5	耳鼻咽喉科学概論 1. 鼻科学 1 1) 鼻副鼻腔の解剖、生理 2) 顔面外傷	・耳鼻咽喉・頭頸部外科で扱う領域について説明できる。 ・鼻副鼻腔の解剖、生理を説明できる。 ・顔面外傷の診断を説明できる。	大内 俊孝 米原 啓之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

					・顔面外傷の治療法を説明できる。		
2		5.18	5	2. 鼻科学 2 1) 副鼻腔炎 2) 鼻アレルギー	・副鼻腔炎の診断と治療法を説明できる。 ・鼻アレルギーの疫学,診断,治療法を説明できる。	大内 俊孝 米原 啓之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
.3		5.25	5	3. 耳科学 1) 耳の解剖,生理 2) 難聴疾患の診断と治療 3) 眩暈疾患の診断と治療	・外耳・中耳・内耳の解剖と生理を説明できる。 ・難聴疾患の診断と治療法を説明できる。 ・眩暈疾患の診断と治療法を説明できる。	大内 俊孝 米原 啓之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
4		6.1	5	4. 喉頭科学 1 1) 喉頭の解剖,生理 2) 喉頭疾患	・喉頭が軟骨と筋群で構成されている意味を説明できる。 ・内喉頭筋群の種類と動きを説明できる。 ・迷走神経と喉頭の間関係を説明できる。 ・先天性,炎症性,隆起性喉頭疾患を説明できる。 ・声帯麻痺への対応を説明できる。	松崎 洋海	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
5		6.8	5	5. 喉頭科学 2 1) 無喉頭発声 2) 音声障害 3) 気管食道異物	・喉頭摘出後の音声再建法を説明できる。 ・音声障害の診断を説明できる。 ・気管・気管支異物を説明できる。 ・食道異物について説明できる。	松崎 洋海	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
6		6.15	5	6. 口腔咽頭科学 1 1) 口腔咽頭の解剖,生理 2) 口腔・味覚疾患 3) 睡眠時無呼吸症候群	・口腔咽頭の解剖と生理を説明できる。 ・味覚障害の診断と治療法を説明できる。 ・睡眠時無呼吸症候群の診断と治療を説明できる。	大内 俊孝 米原 啓之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
7		6.22	5	7. 口腔咽頭科学 2 1) 扁桃の解剖,生理 2) 扁桃の手術適応 3) 嚥下障害	・ワルダイエル咽頭輪を説明できる。 ・特殊な扁桃炎があることを説明できる。 ・咽頭扁桃・口蓋扁桃の手術適応を	大内 俊孝 米原 啓之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

					<p>列挙し,その理由を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嚥下の仕組みと障害への対応を説明できる。 		
8		6.29	5	<p>8. 頭頸部外科学 1 1) 唾液腺腫瘍 2) 喉頭腫瘍</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・頭頸部腫瘍の特徴や疫学を説明できる。 ・耳下腺・顎下腺腫瘍の疫学,検査,治療を説明できる。 ・喉頭腫瘍の疫学,検査,治療を説明できる。 	松崎 洋海	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
9		7.6	5	<p>頭頸部腫瘍学総論 9. 頭頸部外科学 2 1) 副鼻腔腫瘍 2) 咽頭腫瘍</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・頭頸部腫瘍の特徴や疫学を説明できる。 ・副鼻腔腫瘍の症状,検査,治療について説明できる。 ・上・中・下咽頭腫瘍の症状,検査,治療を説明できる。 	松崎 洋海	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
10		7.13	5	<p>10. 頭頸部外科学 3 1) 頸部炎症疾患 2) 頸部良性腫瘍 3) 甲状腺腫瘍</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・頸部炎症性疾患を説明できる。 ・発生場所別に頸部良性腫瘍を説明できる。 ・甲状腺腫瘍の診断と治療を説明できる。 	松崎 洋海	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

